

二次案内 令和7年度 ふくい教育フォーラム

テーマ

一人ひとりの子どもが主役となる
学びの実現を目指して

参加者募集!

参加者同士で語り合い、学びを深めましょう!
新しい気づきや視点は、明日からの活力になります!

基調講演 (リアルタイム・オンライン ZOOM参加)

令和8年1月13日(火) 14:00~16:30

講師：長崎県立大学長 浅田 和伸 (あさだ かずのぶ) 氏

テーマ：「教育で一番大事なこと ～子どもたちのウェルビーイングを目指して～」



話題提供・語り合い (リアルタイム・オンライン ZOOM参加)

令和8年1月14日(水) 14:00~16:30 (60分×4本)

令和8年1月15日(木) 14:00~16:30 (60分×4本)

発表者から実践に基づく話題提供や問題提起があります(約20分)
その後、参加者同士で語り合います(約40分)

対 象

福井県内外の教職員および教育行政機関の関係者

参加申込

二次元コードより12月26日(金)までにお申し込みください。



オンデマンド配信

実践発表動画をオンデマンド配信します。動画の視聴は下記URLよりお願いします。

配信期間：令和8年1月13日(火)～3月31日(火) *動画視聴のお申込みは不要です。

URL(教育総合研究所HPより)⇒<https://www.fukui-c.ed.jp/~fec/category/presen/>

福井県教育総合研究所

電話 0776-58-2160 (直通)

【お問合せ先】 ふくい教育フォーラム

「参加申込」担当：玉本

基調講演

令和8年1月13日(火)

講演テーマ：「教育で一番大事なこと」

～子どもたちのウェルビーイングを目指して～

講師紹介

講師：長崎県立大学長 浅田 和伸 氏

1962年生まれ、香川県出身、東京大学文学部心理学専修課程卒業。三重県教育委員会事務局指導課長、東京都品川区立大崎中学校長、文部科学省総合教育政策局長、国立教育政策研究所長等の経歴を持つ。

書著には『教育は現場が命だー文科省出身の中学校長日誌』（悠光堂）、『子どもといっしょに成長しよう』（ジアース教育新社）がある。月刊「教職研修」（教育開発研究所）で「新・教育直言」を連載中。



日程（リアルタイム・オンライン）

13:30～13:50	zoom入室・受付
13:50～14:00	挨拶・連絡
14:00～16:20	基調講演 教育で一番大事なこと ～子どもたちのウェルビーイングを目指して～
16:20～16:30	振り返り・連絡

話題提供・語り合い 8本のプログラム

(リアルタイム・オンライン)

1月14日(水)

	Zone A	Zone B
13:50～14:05	zoom①入室・受付・連絡	zoom②入室・受付・連絡
14:05～15:05	話題提供① オンラインで広がる学びの協働性 福井市安居小学校 飯田 吉則 ⇒語り合い	話題提供② Let's challenge and enjoy teaching English together !! ～英語専科第1号としての“6年間の取組”から～ 小浜市立小浜美郷小学校 大下 芳徳 ⇒語り合い
15:05～15:20	振り返り・休憩・zoom③入室・受付・連絡	振り返り・休憩・zoom④入室・受付・連絡
15:20～16:20	話題提供③ mustからwillへ 教師の学び合うコミュニティづくり 坂井市立長畝小学校 川崎 美和 ⇒語り合い	話題提供④ 子どもと地域が輝くための望ましい校務運営へのアプローチ ～学校再編へのかかわりを通じた事務職員の挑戦～ 若狭町立上中小学校 浦谷 時生 ⇒語り合い
16:20～16:30	振り返り・諸連絡	振り返り・諸連絡

1月15日(木)

13:50～14:05	zoom⑤入室・受付 (Zone A)	zoom⑥入室・受付 (Zone B)
14:05～15:05	話題提供⑤ 子供と共に成長する教師 福井大学教育学部附属義務教育学校 後期課程 内田 和孝 ⇒語り合い	話題提供⑥ 学力調査を通じて子どもの思考を読み解く ～福井県学力調査 (SASA)を用いた授業改善 や研修の提案～ 教育総合研究所 教科研究センター 小中学校教科研究課 佐藤 義信 ⇒語り合い
15:05～15:20	振り返り・休憩・zoom⑦入室・受付・連絡	振り返り・休憩・zoom⑧入室・受付・連絡
15:20～16:20	話題提供⑦ 金津中学校若手授業研究会の歩み ～探究的な授業を目指して～ あわら市金津中学校 大草 将晴 他3名 ⇒語り合い	話題提供および対談⑧ 教員を志望しているディスレクシア(読字障がい)当事者の大学4年生との対談企画 嶺南西特別支援学校 為国 順治 ⇒質疑応答
16:20～16:30	振り返り・諸連絡	振り返り・連絡

話題提供者より

1月14日(水)

① オンラインで広がる学びの協働性

福井市安居小学校／教頭 飯田 吉則

県内の学校とのオンライン交流を重ねるなかで、児童の学びの広がりとともに、教員の協働性の高まりも実感している。他者との学びが、自身の学びを相対的に見つめ直すきっかけとなり、より深い学びへとつながっていくオンライン交流の利点やその可能性について語り合いたい。

② Let's challenge and enjoy teaching English together !!

～英語専科第1号としての“6年間の取組”から～

小浜市立小浜美郷小学校／教諭 大下 芳徳

小学校外国語科（英語）が“コロナ禍”の真っ只中、本格的にスタートして今年度で6年目になる。“福井県英語専科第一号”としてのこれまで6年間のふり振り返り、成果と課題を明らかにし、私自身が日々の取り組みの中でうまくいったこと以外にも、悩んだことや苦労したこと等について、エピソードも交えながら報告し、以下のようなトピックを参加者のみなさんと自由に対話する中で、今後「小学校英語」が進むべき“よりよい”方向性について、いっしょに考えていきたいと思う。

- ☐ 海外とのオンライン交流学習（いかに“本物”に触れる機会を設定するか。）
- ☐ ICT・ALTとの協働について
- ☐ 小中（高）連携について
- ☐ 「楽しい授業」と「分かる・理解できる授業」の両立へ向けて
- ☐ 「発音体操」や「音素体操」を基にした『リタラシー教育』について
- ☐ 英語授業における『P4C対話』の活用について

今年度“還暦”を迎えた、英語専科キムタクンといっしょに楽しくワクワク学び合いましょう！

③ mustからwillへ 教師の学び合うコミュニティづくり

坂井市立長畝小学校／教諭 川崎 美和

教育総合研究所のマネジメント研修、教職大学院の学校改革マネジメントコースを通して、子ども一人一人が主役になる学びについて、年齢や校種、職種の違う多様な院生や先生方と語り合い、自分と向き合い、自己の教育観を大きく変える経験ができました。また、その学びと並行して、勤務校において、これまでの自分の中の当たり前を見直し、教務主任として、先生方の協働的で対話的な学びの実現を目指して実践に取り組んできました。これまでmust（しなければならない、こうあるべき）にとらわれていた私の、will（やりたい、こうありたい）への転換へ、小さなチャレンジでも、確実な一歩を踏み出した記録を紹介します。

④ 子どもと地域が輝くための望ましい校務運営へのアプローチ

～学校再編へのかかわりを通じた事務職員の挑戦～

若狭町立上中小学校／事務職員 浦谷 時生

学校再編にともなう前年度の閉校、そして今年度の開校へのかかわりを通して、事務職員としてできることを考え、教職員との連携を図りながら実践してきたことを報告します。

いかにして新しいステージへとつながるか。学校・家庭・地域が同じ思いをもって前へと歩み出すか。記念すべき貴重な時間を共にできた経験から、私自身が得た学びをもとに、様々な職種や立場から考える望ましい校務運営のあり方について、追究していきたいと考えます。

1月15日(木)

⑤ 子供と共に成長する教師

福井大学教育学部附属義務教育学校後期課程／教諭 内田 和孝

総合的な学習において子供たちは、多様な考えや背景をもつ仲間全員で話し合い、互いに認め合い、時にぶつかり合いながら、学びを進めている。そしてその学びの過程で、子供たちは、新たな価値を創造していくコミュニティを形成することの面白さや、難しさを実感しながら、その意味や価値を感じ取っていく。子供と教師の学びは相似形と社会でよく言われるようになった現在、そのような学びの過程において、我々教師は子供と共に学びの歩みをどのように進めていくとよいのだろうか。総合的な学習を通して、子供と共に学び、成長する教師の姿について語り合っていきたい。

⑥ 学力調査を通じて子どもの思考を読み解く

～福井県学力調査（SASA）を用いた授業改善や研修の提案～

教育総合研究所 教科研究センター 小中学校教科研究課／課長 佐藤 義信

福井県学力調査（SASA）は令和7年度で第74回を迎えた。福井県教育総合研究所では、児童生徒の思考を可視化できるような問題を作成し、躓きを分析した上で、子ども主体の授業づくりを提案している。本発表では、調査問題設計の背景や、調査問題で明らかになった課題を紹介しつつ、調査結果を授業づくりに生かす方法、校内研修で活用する方法を提案し、SASAのよりよいあり方について参加者とともに考えたい。

⑦ 金津中学校若手授業研究会の歩み～探究的な授業を目指して～

あわら市金津中学校／教諭 大草 将晴・山本 湧也・蟻塚 知都・高島 祐希

金津中学校の若手教員4人で、授業研究会(探究推進委員会)を立ち上げました。「探究で、学びの芽を！」をスローガンに設定し、教科の興味関心を高めたり、学びに向かう力を育むことができる探究的な授業への改善を目指しています。探究的な授業について、皆さんと議論し、深めていきましょう。

⑧ 教員を志望しているディスレクシア（読字障がい）当事者の大学4年生との対談企画

嶺南西特別支援学校／校長 為国 順治

小学生時代にディスレクシアの診断を受けた大学4年生をゲストに迎え、下記の内容についてインタビューする。終盤には当日の参加者から寄せられた質問にも回答してもらう予定。

【インタビュー内容（予定）】

- ① 小学校・中学校・高校・大学の各ステージ毎に、困難だったことや、助かった支援、受けてきた合理的配慮など
- ② 大学の各授業で受けている合理的配慮の具体的な内容や、どのように配慮を要請しているか
- ③ ディスレクシア当事者として学業面で苦労してきたこれまでの経験を踏まえ、今後、どのような教員になりたいと考えているか

実践発表 オンデマンド配信

1月13日(火)～3月31日(火)

配信期間中、以下の3本に加え、話題提供の見逃し配信も
随時、追加で配信します！

実践発表者より

① 「やってみよう」の西藤島～教師の主体的な学びによる授業改善～

福井市立西藤島小学校／教諭 久保 雅人

本校の研究主題は「自ら考え つながり合って 学びを深める～対話の充実を通して～」である。授業と学級の両輪をテーマに掲げ、日々の実践を行っている。校内研究では、「知って」楽しい「やって」楽しいをキーワードに、教師の主体的な学びの促進を図った。5月の研究会で実践内容の近い教員同士で研究グループを設定し、指導案検討や授業実践を行ってきた。また、だれもが発起人になれる「西藤サークル」を不定期で実施し、日々の授業や学級経営に役立つ話題提供やお悩み相談の場を設定している。

② あったらしいな こんなアプリ

福井市国見小学校／教諭 貴田 俊

子どもの学びでICTの活用が重要視されています。ChatGPTは2025年8月5日「Ver.5」にアップデートされました。誰でも無料で使用でき、簡単なアプリを作れるようになりました。今回の内容は、私がこれまで作成してきたアプリと活用方法を紹介いたします。

③ デジタル・シティズンシップ教育の実践研究

教育総合研究所 教育相談センター／企画主査 倉田 真衣

教育相談センターでは、令和4年度から、デジタル社会を幸せに生きる子どもたちのよりよい成長を目指し、全ての子どもたちをICTのよき使い手として育てていくプロアクティブな生徒指導・教育相談の充実を図るための手立てとして、デジタル・シティズンシップ教育の実践研究に取り組んできました。教育現場を取り巻く社会的な意識の変化に対応しながら、デジタル・シティズンシップに取り組む学校の実態やニーズに応じて、研修の実施、授業づくりの支援、教材の提案などを行い、学校現場に寄り添った支援を続けています。本発表では、これまでの取組の概要と成果についてご紹介します。

動画の視聴はこちら↓

<https://www.fukui-c.ed.jp/~fec/category/presen/>